

Unit 6: Rover座標

Application: ランダムウォーク

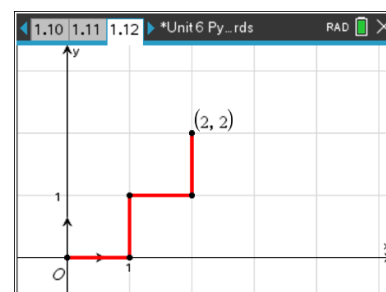
この応用では、Roverが原点(0, 0)から点(2, 2)までグリッド(格子)上を移動する頻度(北と東へのみランダムに回転させる)を確認できます。また、ランダムにその点に到達する実験および理論的な確率を調べます。

目標

- 乱数を使って次に進む方向を決定
- ゴール(2,2)に到達するかどうかを判断
- 画面に座標をプロット
- カラーLEDを使って成功または失敗を報告
- 実験を複数回繰り返し、Roverが目標に到達する頻度を決定
- 目標に到達する理論的な確率を調べる

Teacher Tip: 短いプログラムの場合、プロットステートメントは省略できますが、`tiplotlib`はこの目的のためだけにインポートされます。

Roverは原点Oから始まります。各格子点で、Roverは一度に1単位ずつ、ランダムに東(右)または北(上)に移動できます。Roverがゴール(2, 2)に到達するために取ることができる異なるルートがいくつかあります。1つは、右図で赤/太字で強調表示されています。Roverはいくつの異なる方法で目標を達成できますか。各動きがランダムである場合、Roverがゴールを逃す可能性はありますか。



Roverが目標を達成する確率はどれくらいですか。

この問題のシミュレーションを作成して、Roverが目標に到達した回数を追跡し、成功した試行の割合を決定します。

失敗について考えてみましょう。Roverが目標を達成できなかったことはどうやってわかりますか。

Teacher Tip: $x=3$ または $y=3$ の場合、Roverは上または右にしか移動できないためRoverは点(2, 2)に到達できず、停止できます。運転するのに十分なスペースがない場合(約 $0.5m \times 0.5m$ のスペースが必要)、`rv.grid_m_unit(scale_value)`を使ってRoverの単位を小さい値に設定します。既定値は $0.1m$ です。

1. 新規のPython Rover Codingプロジェクトを開始します。

TI PlotLib > Setup(TI PlotLib>セットアップ)メニューを使って、ルートに沿ったRoverの位置を表示できるようにplt画面を設定します。

```
plt.window(-1, 4, -1, 4)
plt.grid(1, 1, "dashed")
plt.axes("on")
```

```
*u6App.py 8/42
from math import *
import tiplotlib as plt
from ti_system import *
from time import *
#=====
plt.window(-1,4,-1,4)
plt.grid(1,1,"dashed")
plt.axes("on")
```



2. 試行(trial)回数の変数を設定します : **trials = 10**

成功(success)を数える変数を設定します : **successes = 0**

ゴールの点には2つの変数を設定します : **px, py = 2, 2** (これは有効です!)

forループを使って試行を実行します : **for i in range(trials):**

試行を開始します。

ループblockで, Roverの位置に2つの変数を使います : **rx, ry = 0, 0**

```

trials=10
successes = 0
px, py = 2, 2
for i in range(trials):
    rx, ry = 0, 0
    ..
    ..
    ..
  
```

3. グラフ画面にその点をプロットします : **plt.plot(rx,ry,"o")**

```

plt.window(-1,4,-1,4)
plt.grid(1,1,"dashed")
plt.axes("on")
trials = int(input("# of trials? "))
successes = 0
px, py = 2, 2
for i in range(trials):
    rx, ry = 0, 0
    plt.plot(x,y,"o")
  
```

Teacher Tip: Roverは格子のどこにいるかを知っています。 **rv.waypoint_x()**と **rv.waypoint_y()**は現在位置を表示します。学生が変数の制御を維持するほうがよいでしょう。

4. Roverがゴールの点にいない限り継続するwhileループを作成します。

ローバーは失敗しません。どのような状態が失敗になるかを決めることを考えましょう。

この条件は, 演習として残します。

```

for i in range(trials):
    rx, ry = 0, 0
    while (rx,ry)!=(px,py) and ____? ____
    ..
    ..
    ..
  
```

Teacher Tip: Roverがx座標またはy座標のいずれかが3になる点に達すると, 失敗になります。Roverが枠から出ているためです。
whileループは次のようになります。

while (rx, ry) != (px, py) and rx < 3 and ry < 3:

5. whileブロックで, **randint(0, 1)**を使って, 東(0°)または北(90°)のどちらかに移動するかを決定します。これは, 次のステートメントで実現されます。

dir = randint(0, 1) * 90

randint()ステートメントを使うには, **from random import***をインポートする必要があります。Rover Codingテンプレートには含まれていません。

```

trials=10
successes = 0
px, py = 2, 2
for i in range(trials):
    rx, ry = 0, 0
    while (rx,ry)!=(px,py)
        dir=randint(0, 1) * 90
    ..
    ..
    ..
  
```



6. Roverを正確な角度(**dir**)に向けて1単位前進させます。
(右図の記述は不完全です。)

プロット速度を制御するため**rv.wait_until_done()**ステートメントを追加します。

```
*u6App.py 23/45
while (rx,ry)!= (px,py) and
dir=randint(0, 1) * 90
rv.to_angle( )
rv.forward( )

```

Teacher Tip: **rv.left()**と**rv.right()**も使えますが、少し複雑です。
Roverがある角度で回転すると、つねに反時計回りに回転します(たとえ正しい方向に向かっている場合でも360°回転します)。

7. Roverの位置変数**rx**と**ry**を更新します。
Roverが東に移動した場合(**dir == 0**),
rxに1を足します。
そうでないとき,
ryに1を足します。

plt.plot(rx,ry,"o") (図には示されていません)を使って、画面内のRoverの位置をプロットします。

```
*u6App.py 30/50
while (rx,ry)!= (px,py) and rx<3 and ry<3:
dir=randint(0, 1) * 90
rv.to_angle(dir)
rv.forward(1)
if dir==0:
block
else:
block

```

8. **while**ループが終了したら、Roverが成功したかどうかを判断します。

if (rx, ry) == (px, py):

変数**successes**に1を加えて、成功をカウントします。
"SUCCESS!" または "FAIL"を印刷します。
Roverが成功した場合はカラーLEDを**GREEN**(緑)で点灯します。それ以外はカラーLEDを**RED**(赤)で点灯します。

つぎに、次のように入力します(表示されていません)。

```
*u6App.py 25/48
if (rx,ry)==(px,py):
successes+=1
print("SUCCESS!")
rv.color_rgb(0,255,0)
else:
print("FAIL")
rv.color_rgb(255,0,0)

```

- a) Roverが(0, 0)に戻り、東向き(角度0°)になるための2つのステートメント
- b) LEDをオフにするステートメント
- c) **plt.cls()**で始まるプロット画面を再描画し、3つの**Setup**ステートメントを再度使うステートメント

9. **for**ループが終了した後(すべての試行が終了したとき)、実験結果を印刷します。

- a) **successes**(成功)の総数
- b) 成功の割合(**successes / trials * 100**)

右図は、10回の試行サンプルです。パーセンテージは、成功の実験的確率(**experimental probability**)です。

```
Python Shell 10/10
>>>#Running u6App.py
>>>from u6App import *
# of trials? 4
SUCCESS!
FAIL
SUCCESS!
SUCCESS!
Successes: 3
Percentage: 75.0
>>>
```



10. 理論的確率(theoretical probability)

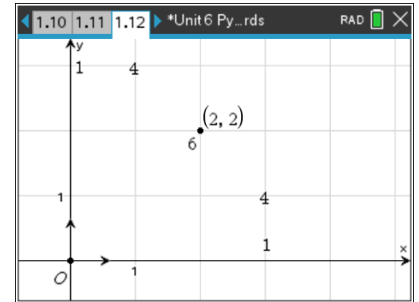
(0, 0)から(2, 2)へは、6つの成功ルートがあります。

$x=3$ または $y=3$ のいずれかへは、10個の失敗ルートがあります(図の1と4を参照)。理論上の確率は次のとおりです。

$$\frac{\text{success}}{\text{success} + \text{fail}} = \frac{6}{6+10} = \frac{3}{8}$$

成功率は37.5%です。

あなたの実験はどれくらい近づきましたか。より正確な実験的確率(experimental probability)を得るためには何をすべきですか。

**Teacher Tip: 最終コード例**

すべてのrv.ステートメントにコメントを付け、1000回の試行をやってみましょう。

```
# Unit 6 App: random walk
#=====
import ti_rover as rv
from math import *
import ti_plotlib as plt
from ti_system import *
from time import *
from random import *
#=====
trials = int(input("# of trials? "))
successes = 0
px, py = 2, 2
for i in range(trials):
    plt.cls()
    plt.window(-1,4,-1,4)
    plt.grid(1,1,"dashed")
    plt.axes("on")
    rx, ry = 0, 0
    plt.plot(rx,ry,"o")
    rv.color_rgb(0,0,0)
    while (rx,ry)!=(px,py) and rx<3 and ry<3:
        dir=randint(0, 1) * 90
        rv.to_angle(dir)
        rv.forward(1)
        plt.plot(rx,ry,"o")
        rv.wait_until_done()
        if dir==0:
            rx+=1
        else:
            ry+=1
        plt.plot(rx,ry,"o")
    # end of while loop
    if (rx,ry)==(px,py):
        successes+=1
        print("SUCCESS!")
        rv.color_rgb(0,255,0)
    else:
        print("FAIL")
        rv.color_rgb(255,0,0)
        rv.to_xy(0,0)
        rv.to_angle(0)
        rv.wait_until_done()
# end of for loop
print("Successes:", successes)
print("Percentage: ", successes/trials*100)
```